

## (30) にら

### ア 各病害虫の防除

乾腐病

さび病

白絹病

白斑葉枯病

株腐細菌病

アブラムシ類

ネダニ類

ネギアザミウマ

ヨトウムシ

ナメクジ

センチュウ類

## ア 各病害虫の防除

### 【留意事項】

(□は総合防除計画に掲載している病害虫)

### 乾腐病

---

(薬剤防除) [農薬登録情報](#)

- 1 刈取直後に薬剤をかん注する。

### さび病

---

(薬剤防除) [農薬登録情報](#)

- 1 薬剤を散布する。

### 白絹病

---

(耕種的・物理的防除)

- 1 発病株は、菌の発生が認められる周囲の表土と共に除去する。

(薬剤防除) [農薬登録情報](#)

- 1 予防的に薬剤を施用する。

### 白斑葉枯病

---

(耕種的・物理的防除)

- 1 窒素質肥料の多施用及び密植をしない。
- 2 ハウスやトンネル栽培では換気を十分にし、多湿にならないようにする。

(薬剤防除) [農薬登録情報](#)

- 1 微生物殺菌剤を散布する。
- 2 薬剤を施用する。

### 株腐細菌病

---

(薬剤防除) [農薬登録情報](#)

- 1 薬剤を散布する。
- ※収穫間際の散布は汚れを生じるので避ける。

### アブラムシ類

---

(薬剤防除) [農薬登録情報](#)

- 1 気門封鎖剤を散布する。
- 2 薬剤を散布する。

### ネダニ類

---

(薬剤防除) [農薬登録情報](#)

- 1 薬剤をかん注又は土壌混和する。

### ネギアザミウマ

---

(薬剤防除) [農薬登録情報](#)

### ヨトウムシ

---

(予防に関する措置)

- 1 防虫ネット等の使用により、成虫の飛来及び産卵を防ぐ。
- 2 ほ場内及びその周辺の雑草の防除に努める。

- 3 施設栽培では、成虫の侵入防止対策として、換気窓等の施設開口部への防虫 ネットによる被覆や防蛾(が)灯(黄色灯)の夜間点灯を行う。
- 4 施設栽培においては、栽培終了後に蒸込み処理を行う。

(判断、防除に関する措置)

- 1 卵塊や若齢幼虫が群生している葉を見つけ次第、除去する。
- 2 発生予察情報を参考に、ほ場の見回り等による早期発見に努め、発生初期に 薬剤散布等を実施する。
- 3 作物残さを適切に処分する。

(薬剤防除) [農薬登録情報](#)

- 1 農薬を散布する。

## ナメクジ

---

(耕種的・物理的防除)

- 1 野菜くずの捨て場等の発生源を除去する。
- 2 ほ場の通風や排水を良好にし、地表部を乾燥させる。
- 3 農作物の過繁茂を避け、収穫後の畑はできるだけ早期に整理する。
- 4 畑周辺の小かん木、小竹などの茂みを伐採整理し、不必要な石積等は取り除く。
- 5 畑周辺の清掃を図った上で、潜伏場所となるような濡れむしろ等を設置し、誘引捕殺する。

(薬剤防除) [農薬登録情報](#)

- 1 粒剤は雨が降ると有効成分が流亡してしまうので、天候を見極めて活動直前の夕刻に処理する。ハウスや温室内では、2～3日間はかん水がかからないようにする。残効期間は短い。

## センチュウ類

---

(薬剤防除) [農薬登録情報](#)

- ・[共通防除の章の資材・苗床・本ぼの消毒の項](#)を参照する。